

Title: 「前田さんのカルテ」



前田さんのカルテ &gt; 2007年07月 アーカイブ



前田 明日香  
友達が女の子のママになりました。もうひとりの友達は今を  
買いました。私は半年の間、写真を撮りに行きます。ありがとうございます。

## ●最近のエントリー

水を潜った印画紙  
(2007.07.28)

## ●アーカイブ

2007年10月  
2007年07月  
2007年04月  
2007年03月  
2007年01月  
2006年12月  
2006年11月  
2006年10月  
2006年09月  
2006年08月  
2006年07月  
2006年06月  
2006年05月  
2006年04月  
2006年03月

## ●ブックマーク

学校法人 日本写真芸術専門学校  
NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE

**OLYMPUS**  
Your Vision, Our Future

RSS 2.0

07.07.28

## 水を潜った印画紙

写真を 撮らせてもらうとき みせてもらうとき みせてもらうとき それについて話すとき  
気づくと私は毎回おかしな汗をかいています。

撮らせてもらうときは  
いって自分が透明になって

シャッターのきれる音もなくなって もしくはマイクみたいどこかに仕込めるカメラや  
瞬きすればシャッターが切れるというような仕組みが実用化されて  
ようするに 撮られる感覚というものがなくなってしまえば  
なにかとよいのではないかと常々考えていました。

しかし少し前 ひさしぶりに撮らせてもらう機会があり  
やはり耐えきれず 私のことは空気だと思ってください！と口走りましたが  
途中でだんだん思っていました。

自分の存在が 空気になってしまうのはやっぱりさみしいです。  
この 心臓の拍動がほかの人にも透けているんじゃないかっていうような  
自分がまるであからさまなようももうかくせるものなんてないような  
おそらく多分に自意識過剰な すごく消耗する

それは緊張というより 興奮とか高揚とかいうほうが的確なのかもしれない感覚を  
きっと私はあじわいたいですね。

そんなにもうまる出しなのに いつもいつも  
こちらこそありがたいんですということをうまく伝えることはできません。

本来 会うことができたひとたちひとりひとりに  
あたまを下げて 握手をして 伝えたいです。

(ほんとうに) あなたに会えてよかった。

(ほんとうに) こちらこそありがとうございます。

きっとこれからも 容易には伝えることはできないでしょう。

せめてそのときあじわった感覚を 忘れないでいくことが必要だと思います。

カテゴリ:

post by 前田 明日香 | 日時: 2007.07.28 | [パーマリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)